鎌倉千社札

30分 2-4人 14+歳

kamakura senjya fuda

カマクラ センジャフダ

内容物： 千社札：35 枚 / 参拝札：30 枚 / 神社仏閣札：5 枚
ご利益札：5 枚 / ルール（本書）：1 枚

ストーリー

鎌倉千社札は鎌倉の神社やお寺を巡って千社札（せんじゃふだ）を貼り、ご利益を授かるカードゲームです。神社やお寺の門、天井などに古い千社札が貼られている様子を目にしたことがあると思います。千社札は「参拝した証を残すことでご利益をいただける」という考えから江戸時代の中期に流行した風習といわれています。当時の愛好家の間では、沢山の社寺へ参拝して目立つ場所へ自分の千社札を貼ることが競われていました。
あなたはそんな愛好家の一人となり、ご利益と見栄をかけて千社札貼りを競い合います。

カードの種類と名称

6 色 合計 35 枚

千社札

❶ 各色の総枚数

5 色 合計 30 枚

参拝札

❷ 参拝番号

5 色 合計 5 枚

神社仏閣札

❸ ご利益点

5 種類

ご利益札

❹ 御利益の内容

ゲームの概要

・プレイヤーはできるだけ沢山の神社仏閣に千社札を貼り、多くのご利益を授かることを目的とします。

・各神社仏閣に一番多くの千社札を貼ったプレイヤーと二番目のプレイヤーのみがご利益点（勝利点）を授かることができます。

・神社仏閣によって貼ることができる枚数が決まっているので、他のプレイヤーの動向をよく観察して、計画的に貼っていくことが勝利のコツとなるでしょう。

ゲームの進め方

・最近神社仏閣にお参りに行ったプレイヤーがスタートプレイヤーとなります。

・スタートプレイヤーから「時計回り」順に、右ページの「手番でできること」を繰り返し、全てのプレイヤーの参拝札が規定の枚数になったら、ご利益点の計算を行います。

・ご利益点は、神社仏閣で授かる以外にも、ご利益札に書かれた内容を達成することでも授かることができます。

手番でできること

❶ 千社札を貼る

千社札を神社仏閣に貼って参拝札を受け取ります

①手札から好きな千社札を 1 枚選んで、同じ色参拝札と交換します。
②交換する参拝札は、番号が小さいほうから順番に交換していきます。
③交換した参拝札は自分の前に表向きにして並べます。（他のプレイヤーが確認できるように並べます。）
④手札に落書札を持っていれば、続けて落書札を貼ることができます。（任意）

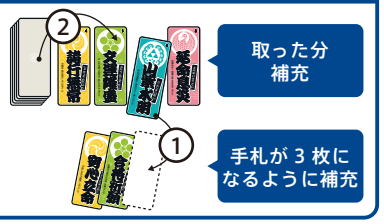
任意 落書札を貼る 次ページ参照 ▶

※手札に落書札しかない場合は、必ず落書札を貼らなければなりません。

❷ 千社札を補充する

次の手番に備えて千社札を補充します

①補充札の中から好きな千社札を自分の手札が 3 枚になるまで受け取ります。（補充札が無くなった場合はこの手順をスキップします）
②補充札をゲームのスタート時と同じ枚数になるまで山札から表向きにめくります。（山札が無くなった場合はこの手順をスキップします）



◂◂ 左隣のプレイヤーに手番を移動

落書札の貼り方

・「-1」と書かれた千社札は「落書札」という名前の特殊な使い方をする千社札です。

・落書札が貼られてしまった神社仏閣は、1 位の獲得できるご利益点だけが、落書札の枚数分だけ下がってしまいます。

・2 位のご利益点には影響しません。

例：2 枚の落書札が貼られた場合

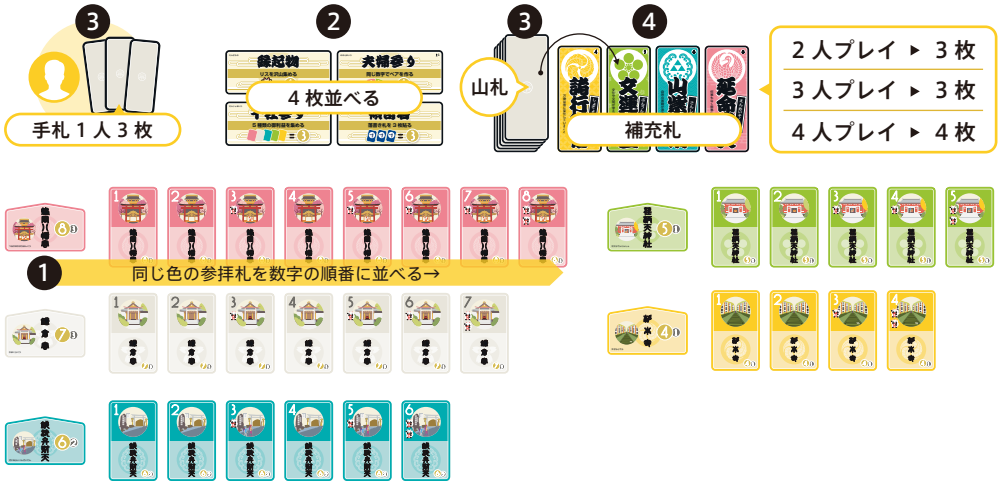
・落書札は通常の「千社札を貼る」アクションに続けて貼ることができます。（戦略上必要なければ貼らなくてもかまいません）

・落書札は神社仏閣の色に関係なく、どこの神社仏閣にでも貼ることができます。

・通常の千社札とは違い、落書札を貼っても参拝札を受け取ることはできません。

・1 度に何枚でも貼ることができます。

ゲームの準備



❶ 神社仏閣札と参拝札を配置する

・神社仏閣札と参拝札を種類別にテーブルの中央に並べます。

❷ ご利益札を配置する

・ご利益札を全員が見える位置に並べます。

・「三社参り」と「夫婦参り」はプレイ人数に応じてどちらか一方だけを使います。（2〜3 人「三社参り」/ 4 人「夫婦参り」を入れ替えて使う）

❸ 手札を配って残りは山札にする

・千社札を良くシャッフルしたら、1 人 3 枚ずつ裏向きに配り、残りは山札にします。

❹ 補充札を配置する

・千社札の山札から札をめくり、補充札として山札の隣に表向きに並べておきます。

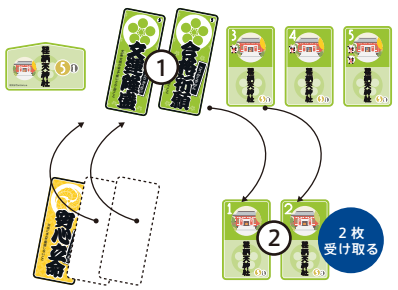
・2〜3 人で遊ぶ場合は 3 枚 / 4 人の時は 4 枚を補充札として並べます。

特殊貼り「連札」

・通常は 1 枚しか貼れない千社札ですが、同じ色の千社札に限り、一度に 2 枚までを連続で貼ることができます。

①手札から同じ色の千社札を 2 枚貼ります。

②参拝札を 2 枚連続で受け取ります。



同じ色の千社札は 2 枚連続で出せる

ゲームの難易度調整

・ゲームに慣れない人や、小さなお子様と一緒に遊ぶ際には、次項のご利益札をすべて無くして遊ぶのがオススメです。ゲームに慣れてきたら少しずつご利益札を足せば楽しくゲームを遊ぶことができます。

ご利益札の種類と達成の条件

縁起物（えんぎもの）

参拝札に付いているリス 1 匹につき 1 点を得ます。

千社参り（せんじゃまいり）

すべての神社仏閣に千社札を貼ると 3 点のご利益を得ます。

傾奇者（かぶきもの）

落書札が 3 枚貼られた神社仏閣は 1 位のご利益点に +3 点の加点をします。

+3 点の加算

（通常は 3 点の失点ですが +3 点に転じます）
3 枚を超えて 4 枚目が貼られた場合は +2 点
5 枚目が貼られた場合は +1 点となります。
（1 枚増える毎に 1 点ずつ減点していきます）

プレイ人数に応じて入れ替えます

三社参り（さんしゃまいり）

同じ数字の参拝札を 3 枚集めます。1 セット毎に 3 点のご利益点を得ます。

2・3 人用

or

夫婦参り（ふうふまいり）

同じ数字の参拝札を 2 枚ペアで集めます。ペア毎に 1 点のご利益点を得ます。

4 人用

ゲームの終了とご利益点の計算

・各プレイヤーの参拝札が規定数になったら以降の手番をスキップします。

・全員が規定数の参拝札を獲得したらゲームを終了し、得点計算を行います。

参拝札の規定数

2 人プレイ	▸全員が **11** 枚ずつ集めたら計算
3 人プレイ	▸全員が **7** 枚ずつ集めたら計算
4 人プレイ	▸全員が **5** 枚ずつ集めたら計算

・神社ごとに各プレイヤーの参拝札の枚数を比べます。

・最も参拝札を集めたプレイヤーが神社仏閣札に記された 2 つのご利益点のうち大きい数字を、2 番目のプレイヤーが小さい方の数字をご利益点として獲得します。

・同率 1 位のプレイヤーが複数いる場合、該当プレイヤーは小さい方の数字を勝利点として獲得し、2 位の勝利点はなくなります。同率 2 位のプレイヤーが複数いる場合は、勝利点を得ることはできません。

ご利益点の合計と勝者の決定

・神社ご利益点とご利益札の達成点の合計が一番多いプレイヤーが勝者となります。

SENJYAFUDA
鎌倉
千社札
kamakura
senjya fuda

名所一覧

鎌倉千社札 社寺一覧

鎌倉市内には 150 ほどあるといわれている神社仏閣ですが
ここではゲーム中に登場する神社やお寺をご紹介します。

鶴岡八幡宮
ツルガオカハチマングウ

鎌倉初代将軍 源頼朝ゆかりの神社。鳩が道案内をしたという言い伝えから、本宮に掲げられた「八幡宮」額の八の字は向かい合った鳩の図案になっている。

鎌倉宮　別名：大塔宮（おおとうのみや）
カマクラグウ

明治天皇の勅命により 1869 年に創建。本殿の裏には、主祭神の護良（もりよし）親王が閉じ込められたと伝えられる土牢がある。

銭洗弁財天 宇賀福神社
ゼニアライベンザイテンウガフクジンジャ

お金を洗うと何倍にも増えて戻ってくるといわれる霊水「銭洗水」が湧く神社。四方を急峻な崖で囲まれておりトンネルの先に境内がある。

荏柄天神社
エガラテンジンシャ

学問の神様である菅原道真公をまつり、福岡の太宰府天満宮、京都の北野天満宮と共に三古天神社とされる神社。境内には漫画家たちが建てた絵筆塚がある。

杉本寺
スギモトデラ

三体の十一面観音を本尊とする鎌倉最古の寺。鎌倉石の苔の石段が美しいお寺。入り口の仁王門には多くの千社札が見られる。

千社札とは

愛好家の間では「せん"しゃ"ふだ」と呼ばれており、元々は願いや歌などを木札にしたため、神社仏閣に納札する風習でした。江戸時代には、自分が来た証として、社寺の柱、扉、天井などに自分の出身地や姓名・雅号などを一番目立つ所（人見）に貼ることを競っていました。ゲームに登場する千社札は名前を四字熟語に置き換えていますが、千社札の独特な魅力は楽しんでいただけると思います。

鎌倉千社札
kamakura senjya fuda

www.jugame.info/senjyafuda.html

ルールに誤りや変更があった場合には
WEB サイトに情報を掲載します。
最新の情報は上記 URL をご参照ください。

Game Design / Illustration
Hiroshi Kawamura

Special Thanks !
Yukiko & Takumi, Yu Maruno, Takayuki Mizuki, Takao

ver. 1.1 / 2021.04

Copyright © 2021 JUGAME STUDIO. All rights reserved.